

予防接種を受けることが適切ではない状態の方

- ① 明らかに発熱のある人(通常、37.5℃以上の場合)
- ② 重い急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ その日受ける予防接種によって、または、予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
※アナフィラキシーとは、通常 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のことで、ショック状態になるようなはげしい全身反応のことです。
- ④ BCG 接種については、予防接種、外傷等によるケロイドが認められる人
- ⑤ B 型肝炎ワクチンの接種については、母子感染予防として、出生後に B 型肝炎ワクチンの接種を受けた人
- ⑥ ロタウイルスワクチンの接種については、腸重積症の既往歴がある人、先天性消化管障がいを持つ人(その治療が完了した人を除く。)および重症複合免疫不全症の所見が認められる人
- ⑦ 医師から接種が不適当な状態と判断された人

予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種を受けたあと 30 分間は、医療機関(施設)で様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応はこの間におこることがまれにあります。
- ② 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応がおこることがありますので注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすことはやめましょう。
- ④ 接種当日は、はげしい運動は避けましょう。
- ⑤ ワクチンを接種した後に、なにか気になる症状があった場合は、まずは接種した医療機関の医師にご相談ください。